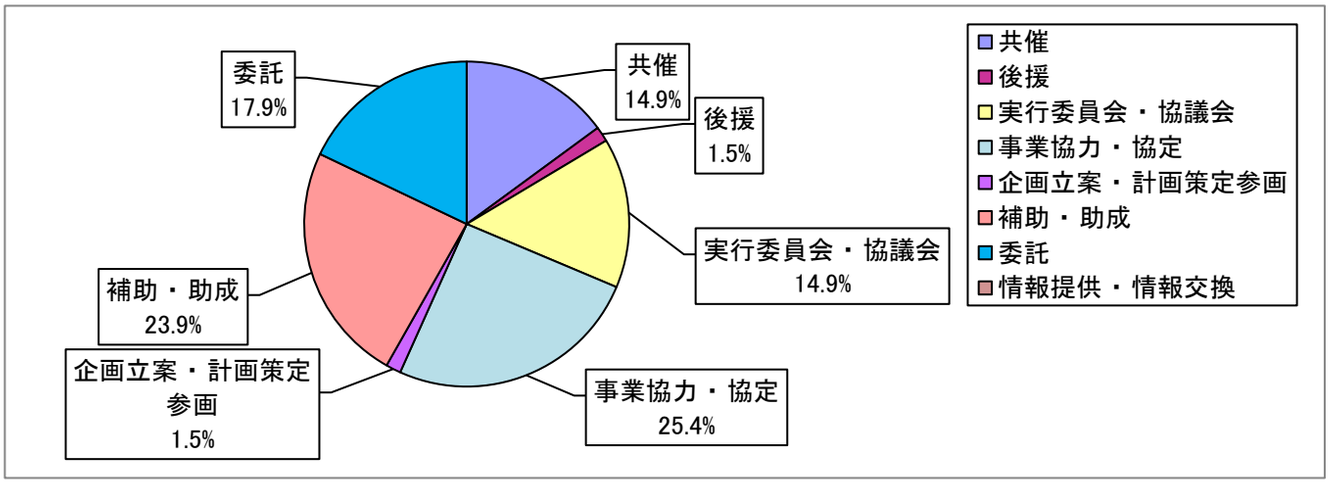
沼田市の市民協働事業(令和４年度)

１　協働事業の状況

令和４年度 協働事業の手法別の状況です。

区分	共催	後援	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
事業数	10	1	10	17	1	16	12	0	67
割合	14.9%	1.5%	14.9%	25.4%	1.5%	23.9%	17.9%	0.0%	100%



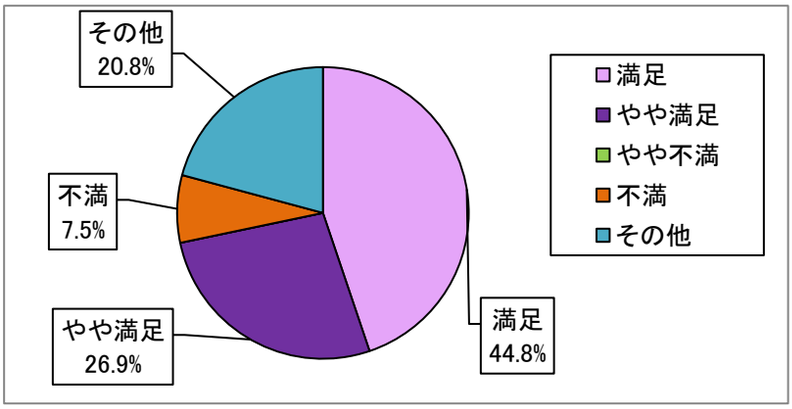
２　協働事業の評価結果

今回実施した調査では、協働という視点で事業を捉えて、各事業の評価・点検を行いました。

その評価結果（満足度）については、次のとおりでした。

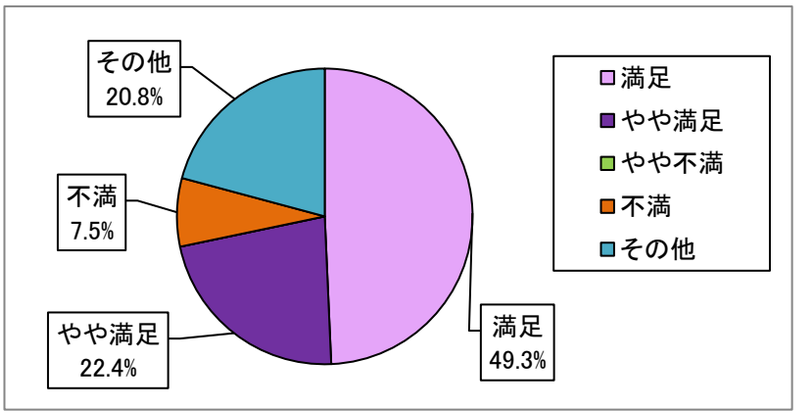
〇市の担当者の満足度

区分	事業数	割合
満足	30	44.8%
やや満足	18	26.9%
やや不満	0	0.0%
不満	5	7.5%
その他	14	20.8%
計	67	100%



〇協働のパートナーの満足度

区分	事業数	割合
満足	33	49.3%
やや満足	15	22.4%
やや不満	0	0.0%
不満	5	7.5%
その他	14	20.8%
計	67	100%

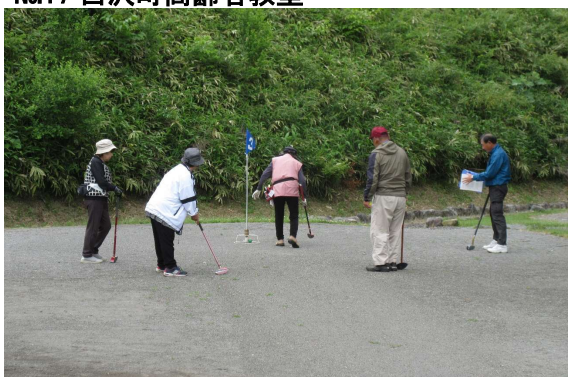


3　令和4年度の事業より紹介

令和4年度に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業内容
17	市民協働課（白沢地区コミュニティセンター）	白沢町高齢者教室	事業協力・協定	白沢町燦々会	白沢町在住の60歳以上の高齢者を対象とした講座を開催する。
31	産業振興課	新規学卒就職者激励親睦のつどい（研修会）	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区の事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。

No.17 白沢町高齢者教室



グラウンドゴルフ大会

群馬デリバリー楽団によるサックス出張ライブ

講座：「睡眠」と「健康」の知恵袋

No.31　新規学卒就職者激励親睦のつどい（研修会）

ハローワーク所長による労働法についての講話

講師による新入社員のフォローアップ研修

参加者交流会：レクリエーション

4 令和4年度 沼田市協働事業一覧

	担当課	事　業　名	手法別	協働のパートナー（記入団体）	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
						担当課	パートナー
1	地域安全課	防火・防災事業	補助・助成	沼田市八職工防火協力会	歳末特別警戒・出初式・災害時の消防機関への協力	当該団体が行う歳末特別警戒は、消防団が行う歳末特別警戒とともに年末の恒例の事業として市民に深く認識されている。今後においても、ともに実施していきたい。	当該団体が行う歳末特別警戒は、消防団が行う歳末特別警戒とともに年末の恒例の事業として市民に深く認識されている。今後においても、ともに実施していきたい。
2	地域安全課	沼田市地区交通安全会連合会活動事業	補助・助成	沼田市地区交通安全会連合会	交通安全運動の推進・普及徹底及び交通指導	各地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。	・地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。 ・各地区交通安全会との情報交換を積極的に行い、横の連携をより強化したい。
3	地域安全課	タフティクラブ活動事業	補助・助成	タフティクラブ	幼児と母親の交通安全教育や研修の実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の保育園や幼稚園の交通安全教室や高齢者向けの交通安全教室の開催が自粛されたが、申請に基づき、感染防止措置を施した上で、交通安全教室を開催し、交通安全教育に貢献している。今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮し、可能な範囲においてクラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園・幼稚園での交通安全教室や高齢者向けの交通安全教室を実施する等、交通安全教育に貢献していく。	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の保育園・幼稚園の交通安全教室や高齢者向けの交通安全教室の開催が自粛されたが、申請に基づき、感染防止措置を施した上で、交通安全教室を開催し、交通安全教育に貢献している。今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮し、可能な範囲においてクラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園・幼稚園での交通安全教室や高齢者向けの交通安全教室を実施する等、交通安全教育に貢献していく。
4	企画政策課	沼田市国際交流事業	補助・助成	沼田市国際交流協会	国際都市交流及び親善に関すること 国際交流の啓発と普及 国際交流に関する調査研究	コロナ禍で、姉妹都市であるフュッセン市との交流が制限される中、オンライン交流会を企画し、両市の交流を深めた。 （改善点など）コロナの状況に留意しながら、国際交流フェスティバルでは様々なパフォーマンスを披露してもらうなど、興味を引くイベントとなるよう工夫し、多くの人々が参加した。	市内に在住する外国人が、市民とともに楽しく暮らせる多文化共生社会の実現に向け、各種事業を実施した。また、コロナ禍により交流が制限されているフュッセン市とのオンライン交流会を実施した。 （改善点など）コロナの状況に留意しながら、交流事業を実施し、おおむね予定通りの事業が実施できた。
5	白沢支所	白沢ふるさとまつり	実行委員会・協議会	白沢ふるさとまつり実行委員会	地域に根ざした伝統的な行事であり、白沢地域の振興を図るとともに、住民相互のつながりや来訪者との交流を促進する。	令和4年度（第29回）白沢ふるさとまつりについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止とした。	
6	白沢支所	白沢町盆踊り大会	実行委員会・協議会	白沢町盆踊り大会実行委員会	伝統行事である盆踊りを継承し、親睦と交流の場とする。	令和4年度（第47回）白沢町盆踊り大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止とした。中止の判断にあたっては、白沢町盆踊り大会実行委員会（書面表決）により、中止の審議結果を得た。	

7	市民協働課	市民協働によるまちづくり事業補助金	補助・助成	市民活動団体、地域コミュニティ代表者など （沼田氏発信プロジェクト実行委員会）	地域の活性化や問題解決に向けた活動への助成。 事業審査は市民等が行う。	令和４年度は、７団体が協働によるまちづくりを推進するため、補助金を活用し事業を実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、２事業が中止となった。 事業の実施報告会についても、新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができなかったため、代わりに事業報告書を市内に回覧し周知を図った。 今後も補助金について周知を強化することで、市内の多くの団体にまちづくり補助金を活用いただけるようにしていきたい。また、市民団体の活動を知っていただくことで、市民のまちづくり意識の啓発を図りたい。	昨年度は主に分家（小川、名胡桃、川田、石墨）に焦点を当てた発信を行うことができた。 今後は、今年度の事業で不十分だった下沼田、恩田、発知等の沼田氏支族についても研究及び発信をしていく予定である。 また、今年度もコロナ禍のため不十分だったイベントでの集客についても、状況を見て行うとともに、印刷物による発信も検討していく。
						（改善点など）昨年度と同様に、４月１日からの事業実施ができるよう、３月中に審査会を開催している。なお、補助金申請の地域の偏りがなかなか改善されないことから、その方法について更なる検討を進める必要がある。	（改善点など）昨年度までに作成した沼田氏関連人物のイラスト（三浦系沼田氏１２代の沼田万鬼齋顕泰及びその側室“ゆのみ”、６代の沼田景久、１４代の沼田平八郎景義、分家の川田氏の円珠姫）を活用したほか、上州真田武将隊の協力を得て、難しい内容の話も楽しく理解してもらう工夫ができた。
8	市民協働課	市民活動センター管理運営事業	企画立案・参画	市民活動センター運営委員会（有識者・利用団体代表者・市職員）	市民活動センターの円滑な運営について検討する。	運営委員は、有識者や市民活動団体の代表者である。委員会での意見は、利用団体の生の声であり、センター運営や各種事業を行う上で貴重である。今後も市民活動活性化のため運営委員会を継続していきたい。	運営委員会は、センターの円滑な運営を図るために設置されたものであり、市民活動団体の代表者が委員となっていることにより、実際に活動している人たちの意見を聞くことができる。今後も、市民活動の活性化を図るために、事業について協議を継続していきたい。
9	市民協働課	男女共同参画推進事業(セミナー開催、計画の推進)	共催	北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会 、大学教授、一般市民等 （北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会）	セミナー開催により、市民の意識啓発を図る。企画の段階から市民参加で検討する。	セミナーの連続講座については、参加者が必要な情報を市民目線で考え、テーマを決定し、開催することができた。 講演会については、コロナ禍の中ではあったが６月２５日に実施した。 「男女共同参画情報紙　ハピネス」については、連続講座を題材に、令和４年１２月に第１５号を発行することができた。 新たな参加者を増やすための工夫を検討し、来年度の実施に向け検討したい。	令和４年度は、令和３年度に引き続きダイバーシティをテーマとし、連続講座及び講演会を計画した。連続講座では第１回に山口アドバイザーの講演と第２回にセクシュアルマイノリティ支援団体「ハレルワ」の代表を講師として招いて実施し、多様性について市民の理解が深まった。講演会については、『“普通の男性たち”が抱える生きづらさと男らしさの話』をテーマに清田隆之氏を講師に招いて実施した。 また、連続講座を題材に「男女共同参画情報誌ハピネス」を作成・全戸配布し、その内容を広く周知することができた。
						（改善点など）昨年に引き続き、市民が中心となり柔軟な企画や実施が図られた。	（改善点など）アフターコロナの社会状況を考慮し、臨機応変に工夫し、市民が主体となり進めている。
10	市民協働課（利南地区コミュニティセンター）	（仮称）利南地区コミュニティセンターまつり	共催	利南笑顔倶楽部有志、利南地区老人クラブ連合会	作品の出展、参加をとおして地区民の親睦と個々の資質の向上を図り、連帯感を深め、地域の発展に寄与する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

11	市民協働課（池田地区コミュニティセンター）	池田高齢者教室	実行委員会・協議会	池田地区老人クラブ連合会	池田地区在住の高齢者を対象とした講座等の開催	高齢者の社会参加を促し、健康づくりと生きがい創造活動を担う場として機能している。 高齢者が変化の激しい現在社会に適応できるよう、お互いが知恵を出し合い潤いのある活動を行っていけるよう引き続き取り組んでいきたい。	参加者は幅広い教養を身に付け、意識の改革が図れた。 各種の取り組みは豊かな老後生活の基礎となるものであった。 今後も主体的に学び、行動する姿勢を創り出しながら、積極的に参加できる雰囲気づくりを市（コミュニティセンター職員）と情報交換や協力を行い取り組んでいきたい。
12	市民協働課（池田地区コミュニティセンター）	池田地区文化祭	共催	池田地区振興協議会	文化祭の開催（短歌・俳句・書道・絵画・水墨画・手工芸・陶芸・切り絵・押し絵・押し花・生け花・彫刻・写真・盆栽等、文化作品の展示）	コロナ禍であったが、感染症防止対策等を行い実施することができた。 市民参画による文化芸能の振興及び生きがいづくりの向上が図られた。 今後の課題は、参加者層の減少と偏りである。高齢者が多く、青少年（若年）層の文化芸術活動への参加が少ない傾向にある。 ポスターやチラシなどを工夫し、さらに広く住民に周知していくとともに、事業の充実を図ることが必要である。	コロナ禍で思ったように活動が行えず、出品数は少なかったが、3年ぶりに開催することができ、小学生から高齢者まで作品が出展され、成果は得られたと思われる。 また、作品を出展することにより、地域住民の生涯学習の意欲の向上が図られている。
13	市民協働課（池田地区コミュニティセンター）	地域いきいきチャレンジ事業	事業協力・協定	明治安田生命	睡眠と健康の知恵袋講座、女性のための健康講座、今から取り組もう防災講座＜地震編＞	健康寿命の延伸や防災リテラシー向上のため専門的知識を活かした講座を開催することができた。当市との包括連携協定に基づき、地域社会の発展と市民サービスの更なる向上を推進するため、今後とも、地域の特色ある事業へ連携・協働し、地域の活性化及び行政のサービス向上を図りたい。	明治安田生命では、「地元の元気」、「みんなの健活」をテーマに地域の皆様が元気になり、健康を維持していく社会作りに貢献していきたいと考えております。昨年度皆様のご協力のもと、上記テーマで定期講座を開催させて頂き大変ありがとうございました。新年度も引き続き開催させて頂き、地域の皆様の元気と健康維持にお役に立てれば幸いです。今後とも宜しくお願い致します。
14	市民協働課（薄根地区コミュニティセンター）	薄根地区フェスティバル	共催	薄根地区振興協議会　ほか（薄根地区振興協議会）	旧公民館まつりの継続事業	コロナ禍において模索しながらの開催であったが、一定の成果は得られたと思われる。 （改善点など）当初の事業名は薄根地区芸能祭であったが、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、団体による芸能発表を実施せず、作品発表及び講習会をメインにしたことから名称を変更した。	コロナ禍において模索しながらの開催であったが、一定の成果は得られたと思われる。

15	市民協働課（川田地区コミュニティセンター）	川田地区民展	実行委員会・協議会	川田地区振興協議会、川田地区青少年育成連絡協議会ほか（川田地区振興協議会）	川田地区民が制作した作品展示と表彰式の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、当該年度は開催を見合わせた。	
16	市民協働課（川田地区コミュニティセンター）	川田卓球教室	後援	川田地区振興協議会、沼田市体育協会川田支部、地域ボランティア（川田地区振興協議会）	地域の住民に週1回卓球ができる場所を提供	7月から開始し、年度末までで延べ668人の参加を得た。 地域からも好評で参加者は未だに増えている。 次年度も年間を通じて実施していく。	7月から開始し、年度末までで延べ668人の参加を得た。 地域からも好評で参加者は未だに増えている。 次年度も年間を通じて実施していく。
17	市民協働課（白沢地区コミュニティセンター）	白沢町高齢者教室	事業協力・協定	白沢町燦々会	白沢町在住の60歳以上の高齢者を対象とした講座の開催	運営委員会において、活動内容を検討し、委員の意見や要望等を取り入れて、教室運営に反映させることができた。また、運営委員による学習会の周知により、会員の参加率も高く事業効果を高めている。参加会員の高齢化が著しく、今後については、教室運営の見直しが必要。	運営委員会において、活動内容を検討し、委員の意見や要望等を取り入れて、教室運営に反映させることができた。また、運営委員による学習会の周知により、会員の参加率も高く事業効果を高めている。参加会員の高齢化が著しく、今後については、教室運営の見直しが必要。
18	環境課	環境啓発事業(環境フォーラムぬまた等)	委託	ぬまた環境ネット	ぬまた環境ネットの運営と環境啓発事業（環境フォーラムぬまた）の開催	環境フォーラムぬまたは2年ぶりの開催であり、また、会場がテラス沼田防災広場ミッテになっての初めての開催であったが、全体を通して一体感があり好評を得た。 子どもから大人まで楽しめる内容であったため、多くの市民に環境問題を考える機会を提供できた。	1.「ぬまた環境ネットだより」（4月発行、全戸配布）を通じ、加盟団体の活動を紹介するとともに、昨今の環境問題の啓発に努めた。 2.「第15回環境フォーラムぬまた」について、広く告知に努めたところ、他市町村からの来場者も見受けられ、「沼田の環境問題に取り組む姿勢はすばらしい」と感想を語っていただいた。 市民に身近なごみ問題に関心を持っていただくため、講演会講師にお笑い芸人でごみ収集員・マシンガンズ滝沢秀一氏を招いた。滝沢講師自らのごみ収集体験談を熱っぽく語りかけ、講師と満員の来場者との一体感が生まれるなど、好評を得た。
							（改善点など）「環境フォーラムぬまた」に多くの方々に足を運んでいただくために、今回、初めて環境省からVRシアターを借用し、気候変動による影響についてゴーグルを装着して視聴していただいた。エコカー展示、バスの乗り方教室、キーワードラリー、COOL CHOICE賛同者の募集（118名を募った。）、加盟団体による体験コーナー、市民から募集した環境川柳の展示など、盛りだくさんの催しを企画し、来場者に楽しんでいただくことが出来た。

19	環境課	環境啓発事業（ブナの幼木移植）	事業協力・協定	ぬまた環境ネット（利根沼田自然を愛する会）	玉原高原の再生のためケヤマハンノキ林にブナの幼木を移植する。	移植した幼木が根付き一定の成果は見られた。 事業目的達成のため、長期的な視点に立って事業を継続することが必要である。	広報ぬまたやHPに掲載し、参加申込もあり、参加者の輪の広がりがある。 作業後の経年結果等を記録している。 （改善点など）市民の他に、県民にも広報で知らせる工夫をした。
20	環境課	春・秋の市内一斉清掃	共催	沼田市環境保健協議会	道路愛護運動と同時に道路・河川・公園等の清掃作業を実施する。	春の一斉清掃について、新型コロナウィルス感染拡大予防の観点から、春、秋共に中止となった。また、各地区の判断により実施する地区に対しては、集めたゴミの回収を実施した。	令和4年度は、新型コロナウィルスの関係から、事業が実施できなかったが、地区の判断で独自に実施する地区があるということだったことを踏まえると、事業を継続していく必要性を改めて実感した。 来年度の事業については多くの市民の方に参加していただけるよう、環境保健協議会の会議等において各町の支部長に協力をお願いしていきたい。なお、高齢化により危険箇所の清掃が困難であると言っている町が増えてきた。
21	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル運動推進協議会外48団体 （沼田イーストジュニア）	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施	令和4年度の集団回収事業登録団体は48団体、延べ225回実施され、紙・缶・びん等の再生可能な資源が約336t回収された。 人口減少に比例し排出量の減少もあり、回収量について5．35%減少したと考えられる。 近年、子供の数の減少に伴う育成会活動の休止、高齢化による老人会の活動の縮小などにより活動団体数は減少傾向にあるなかで、新規団体に参加してもらえるよう、継続して周知を図っていきたい。 （改善点など）今年度は、新型コロナウィルス感染拡大予防の観点から、年間4回以上の実施制限について、制約を緩和して実施を行った。各団体において、感染防止を徹底したうえでの実施となった。	地域住民および関係者の方々に協力していただき、奨励金を活動費に充てることができた。引き続き、集団回収事業を実施していきたい。
22	子ども課	親子ふれあい交流事業	事業協力・協定	沼田市母子会	ひとり親家庭の親子のレクリェーション等の実施	新型コロナウイルス感染症拡大により開催を中止とした。	

23	子ども課	沼田市子育て支援ネットワーク事業	事業協力・協定	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会	子育て支援団体等ネットワーク事業の実施	子育て支援団体等のネットワーク構築により子育て家庭のニーズ把握が可能となり、ニーズの高い地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を開設し、支援を進めることができた。（地域子育て支援拠点事業＝市委託事業。ネットワーク推進協議会の参加団体である「NPO法人利根沼田地域ボランティアセンター」が受託。）令和元年度に子ども広場がテラス沼田への移転拡充した際には、連携して取り組めた。定期的に各団体の代表者が集まり、情報交換を行うことで子育て世帯のニーズの把握に努めることができた。新規で取り組んでいる子どもの居場所づくりについては、支援の必要な子どもとその世帯に対して市と協働で支援を行うことができた。 （改善点など）各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようになっている。定期的に開催されている各子育て支援団体の代表者の会議には「子育てコンシェルジュ」も参加し、連携体制の強化を図った。	沼田市子育て支援ネットワーク事業を受けて、平成25年度から沼田市より地域子育て支援拠点事業を委託され（NPO法人利根沼田地域ボランティアセンターとして）子ども広場で、常勤スタッフをおけるようになった。子ども広場のテラス沼田への移転により、利用者や相談件数も格段に増え、子育て支援の拠点としての大きな役割を果たせるようになったと思う。沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会が事業を主導しているので、2～3ヶ月に一度会議をし、順調に事業が進んでいる。新規に取り組んでいる子どもの居場所づくり事業においては、支援の必要な子どもとその世帯に対して協働で支援を行うことができた。 （改善点など）各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようになっている。平成28年度より意見交換の場に「子育てコンシェルジュ」が参加し、連携体制の強化に努めることができた。
24	子ども課	未来のライフデザイン啓発動画作成事業	事業協力・協定	Hug　Hapi（はぐはぴ）※沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会の参加団体	未来のライフデザイン啓発動画「ハタチからの参考書」の作成	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会の参加団体であるHug　Hapiの事業協力により、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された啓発動画が完成した。新型コロナウイルス感染症拡大により冊子から動画へ変更し市公式YouTubeに公開した。引き続き同団体との協働により、新たな視点を取り入れながら内容・デザイン等の見直しを行い、よりよいものを作成していきたい。 （改善点など）従来作成した啓発リーフレットの内容を引き継ぎつつ、Hug　Hapiのメンバーが新たに企画し、イクメンパパの子育てインタビュー等の取材内容を加え、より魅力的な啓発動画作ることができた。	市との役割分担を明確にし、企画・編集についてはパートナーの裁量により作業を進めることができたため、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿を反映させ、新成人が自らのライフプランを描きやすいような啓発動画が完成した。市公式YouTubeに掲載することで、より多くの方へ発信することができた。引き続き市との協働により内容・デザイン等の見直しを行い、よりよいものを作成していきたい。さらに、子育て中の方々などに声かけをしてメンバーを増やしながら活動を広げていきたい。 （改善点など）新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度よりリーフレット形式から動画形式へ変更して取り組んでいる。市の公式YouTubeへ掲載することにより、より多くの人へメッセージを伝えることができた。従来作成していた冊子の内容を引き継ぎつつ、Hug　Hapiのメンバーが新たに企画し、イクメンパパの子育てインタビュー等の取材内容を加え、より魅力的な啓発動画を作ることができた。
25	子ども課	ハッピープロジェクト事業	委託	ぬまたハッピープロジェクト運営委員会	地域における出会いの場つくり	出会いを応援し沼田を元気にするネットワークとして平成28年8月に設立された「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」には、現在、青少年団体、子育て支援団体、農業団体などが参加している。新型コロナウイルス感染症拡大により婚活イベントは2回しか実施できなかった。今後も、様々な団体に声かけをし、ネットワークの拡大を図りながら、より効果的な事業を推進していきたい。	新型コロナウイルス感染症拡大により、婚活イベントは2回しか実施できなかった。イベントの企画は、ネットワーク構成団体のアイデアをもとに比較的自由な発想で決定し、事前準備は主に市が事務局として進め、広報活動や当日の運営は協働で実施するなど、効率的な役割分担ができていた。今後も、様々な団体に声かけをし、ネットワークの拡大を図りながら、より効果的な事業を推進していきたい。

						(改善点など)新型コロナウイルス感染症拡大により、感染予防対策を実施した事業の実施につとめた。	(改善点など)新型コロナウイルス感染症拡大により、感染予防対策を実施した事業の実施につとめた。
26	介護高齢課	市民敬老号事業	事業協力・協定	沼田市老人クラブ連合会	高齢者の親睦と社会見聞を広めるため、2泊3日の県外旅行を実施	新型コロナウイルス感染症の関係から令和4年度は中止	
27	介護高齢課	老人クラブ助成事業	補助・助成	沼田市老人クラブ連合会	単位老人クラブに1年間の活動費の助成として、補助金を交付している。	老人クラブは、地域の高齢者全体を視野に入れた健康づくりや介護予防活動、友愛訪問等の地域支え合い活動等に取り組んでおり、地域社会の重要な担い手として、なくてはならない存在である。 しかし、クラブ数、会員数とも減少しており、これに歯止めをかけていくことが今後の課題である。	クラブ数、会員数ともに減少しており、これに歯止めをかけていくことが今後の課題である。
						(改善点など)クラブ数、会員数の減少に対し、一丸となって取り組む基本方針を理事会で確認した。また、各種提出書類作成が各単位クラブ役員の負担にならないよう工夫している。	(改善点など)クラブ数、会員数の減少に対し、一丸となって取り組む基本方針を理事会で確認した。
28	健康課	高齢者筋力向上トレーニング事業	事業協力・協定	老人クラブ、ふれあいいきいきサロン、保健推進員、介護予防サポーターほか （柳町福老クラブ）	暮らしに役立つ筋力向上トレーニングを実施しながら仲間づくりを行う。	新型コロナウイルス感染症の流行により、各地区団体の方針の違いから活動状況に差があった。 新型コロナウイルス感染症の流行による団体活動自粛から、そのまま廃止になった団体や活動の実態がなくなってしまった団体があり、筋トレ活動団体数が減少した。 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が引き下がったため、感染状況に注視しながら、来年度は継続支援等の強化を図りたい。	新型コロナウイルス感染症対策（消毒・体温測定・3密防止）に気を付けながら、みんなが集まれるクラブを継続してきた。 参加者の人数を確保する事が課題 （保健推進員の声かけなどにより、最近は参加者の顔ぶれが変わり、新しい参加者が参加してくれるようになってきた。）
29	健康課	地区健康教室	共催	沼田市保健推進員会	地域で健康教室を開催し、こころの健康及び生活習慣病予防等の正しい知識の普及を図る。	コロナ禍ではあったが感染対策を講じて、3年ぶりに事業説明会並びに定期総会及び講演会を実施できた。また、徐々にではあるが、地区健康相談、健康教室、ウォーキング教室等も開催することができた。 今後も、保健推進員会と連携を図りながら、地区の活動を増やして行きたいと考える。	保健推進員会運営に関しては、理事会等で事業計画について意見を聞き、事業実施に反映できるよう努めた。 今後も、事務局と連携を図りながら、地区の活動を増やして行きたい。
						(改善点など)継続的に役員会・理事会を開催し、活動内容の検討を図った。	(改善点など)継続的に役員会・理事会を開催し、活動内容の検討を図った。

30	産業振興課	沼田まつり	実行委員会・協議会	沼田まつり実行委員会	各部会を設置し、各種団体の協力を得て沼田まつりを開催する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
31	産業振興課	新規学卒就職者激励親睦のつどい（研修会）	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区の事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。	令和4年度の参加者は、17事業所 54 名であった。新型コロナウイルス感染症の対策を施し、令和3年度よりも若干の参加者増となった。感染防止のため、飲食を伴う内容は実施せずフォローアップ研修等に内容を一新し実施した。	令和4年度の参加者は、17事業所 54 名であった。新型コロナウイルス感染症の対策を施し、令和3年度よりも若干の参加者増となった。感染防止のため、飲食を伴う内容は実施せずフォローアップ研修等に内容を一新し実施した。
32	産業振興課	利根沼田勤労者ソフトボール大会	共催	沼田地区労働教育委員会・沼田市ソフトボール協会（沼田地区労働教育委員会）	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、ソフトボール大会を行う。	令和4年度の出場者数は8事業所9チーム170名であった。	令和4年度の出場者数は8事業所9チーム170名であった。
33	産業振興課	利根沼田勤労者卓球大会	共催	沼田地区労働教育委員会、利根沼田卓球協会（沼田地区労働教育委員会）	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、卓球大会を行う。	令和4年度の出場者数は新型コロナウイルス感染症により当日棄権するチームもあったため6事業所6チーム39名であった。	令和4年度の出場者数は新型コロナウイルス感染症により当日棄権するチームもあったため6事業所6チーム39名であった。
34	産業振興課	新規学卒就職者研修会	共催	沼田地区労働教育委員会・FM-OZE（沼田地区労働教育委員会）	新規学卒就職者を対象に、勤労意欲の向上を図るために研修会を開催する。	令和4年度の参加者は、17事業者54名であった。	令和4年度の参加者は、17事業者54名であった。
35	産業振興課	児童木工工作大会	補助・助成	沼田木材組合	子ども達に木のぬくもりと有益性を認識してもらうため、木工工作大会を行う。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
36	産業振興課	ニュー木工工作広場	補助・助成	利根沼田建築相互組合	地元産木材のPR及び住民交流等のために木工工作広場を開催する。	令和4年度の参加者は、木工作品の作製12名（大人6名、子供6名）、包丁磨ぎ80丁（60名）であった。	令和4年度の参加者は、木工作品の作製12名（大人6名、子供6名）、包丁磨ぎ80丁（60名）であった。
37	産業振興課	沼田市産業展示即売会	実行委員会・協議会	沼田地区地場産業振興協会	本市地場産品の総合展示・即売、各種催事の実施	令和4年度の出展者数は2日間合計で53業者、入場者数は2日間合計で約19，000人であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、積極的な市外業者や市外来客の呼びかけを行わなかったことも影響している。 しかしながら、参加業者及び来場客からは久々の開催に概ね好評を得ており改善を重ねながら継続すべき事業であると考える。	令和4年度の出展者数は2日間合計で53業者、入場者数は2日間合計で約19，000人であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、積極的な市外業者や市外来客の呼びかけを行わなかったことも影響している。 しかしながら、参加業者及び来場客からは久々の開催に概ね好評を得ており改善を重ねながら継続すべき事業であると考える。

38	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会 (利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	
39	農林課	認定農業者協議会活動支援事業	補助・助成	沼田市認定農業者協議会	認定農業者協議会活動補助	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も224名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。 (改善点など)コロナ禍の状況を見ながら、研修開催やイベントへの参加をすることができた。今後も状況を見ながら事業内容の改善に努めたい。	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も224名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。 (改善点など)コロナ禍の状況を見ながら、研修開催やイベントへの参加をすることができた。今後も状況を見ながら事業内容の改善に努めたい。
40	農林課	生活研究グループ活動支援事業	補助・助成	沼田市生活研究グループ	生活研究グループ活動費補助	コロナ禍において、各種事業・イベントが中止となり、活動が制限された。	コロナ禍において、各種イベントが中止となり、活動ができなかったことが非常に残念である。
41	農林課	地域農政推進委員会支援事業	補助・助成	沼田ほか7地区地域農政推進委員会 (利根沼田農業協同組合)	地域農政推進委員会補助	今後も、農業振興に対する意見聴取や情報交換等を行い、組織として情報を共有し検討していく必要がある。 (改善点など)新型コロナウィルス感染防止対策のため会議や研修等など思うように開催できませんでした。状況を見ながら改善に努め連携したい。	今後も、行政と一体となり農業振興に関して意見聴取や情報交換等を行い、連携していく必要がある。 (改善点など)新型コロナウィルス感染防止対策のため会議や研修等など思うように開催できませんでした。状況を見ながら改善に努めたい。
42	農林課	森林づくりボランティア推進事業	事業協力・協定	ボランティア希望者 (森林づくりボランティア事務局)	ボランティア登録者による森林整備	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業中止	
43	観光交流課	交流居住促進事業	実行委員会・協議会	沼田市交流居住促進協議会	都市部との交流事業の促進・移住希望者等受け入れの環境整備	都市間交流事業については、防災や環境に関する協定を締結している新宿区や板橋区、港区などとの交流を継続し、一定の成果を上げてきたなか、新型コロナウイルス対策で現地における交流ができなかったが、徐々に交流も戻ってきた。移住・定住についても現地での面談も戻りつつあったが、オンライン相談会にも積極的に参加した。物件情報について、ウェブでの周知を行った。 (改善点など)今後も引き続き組織や事業の見直し、検討を行い、成果を上げていきたい。	新型コロナウイルスも治まりつつあり、交流都市との交流も徐々に開始されてきたため、沼田市の魅力のPRを行うことができた。移住・定住についても物件紹介やオンライン相談など、受け入れ体制を強化した。今後もウェブ活用と現地とのハイブリッドな交流を実施していきたい。 (改善点など)今後も引き続き組織や事業の見直し、検討を行い、成果を上げていきたい。
44	観光交流課	観光ボランティアガイド	事業協力・協定	沼田市観光協会	観光ボランティアガイドによる観光宣伝	新型コロナウイルスの影響により、令和3年度に比べ県外からの来訪は増加傾向になった。もともと人気のあった真田関連や続100名城登録、御城印といったコンテンツを活用して、沼田の歴史や文化を更にアピールすることができた。	新型コロナウイルスの影響により、令和3年度に比べ県外からの来訪は増加傾向になった。もともと人気のあった真田関連や続100名城登録、御城印といったコンテンツを活用して、沼田の歴史や文化を更にアピールすることができた。

45	観光交流課	沼田市観光協会事業	補助・助成	沼田市観光協会	観光農園、飲食店等の紹介や、コロナウイルス対策事業の実施	新型コロナウイルスの影響により、縮小された事業もあったが、コロナウィルス感染防止対策を講じながら各種事業に取り組んだ。また、本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体と情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図られた。	新型コロナウイルスの影響により、縮小された事業もあったが、コロナウィルス感染防止対策を講じながら各種事業に取り組んだ。また、本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体と情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図られた。
46	観光交流課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会・協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会（(株)白沢振興公社）	秋の味覚のPRと、消費者に感謝の気持ちを込めて特価販売を行う。	新型コロナウイルスの影響で中止	
47	観光交流課	白沢高原りんご＆ぶどう祭り	実行委員会・協議会	白沢高原りんご＆ぶどう祭り実行委員会（白沢りんご研究会）	秋の味覚のPRと、お客様参加型イベントによる交流	新型コロナウイルス感染症の影響で中止	
48	観光交流課	吹割の滝開き・無事故安全祈願祭	事業協力・協定	利根町観光協会	シーズンの開幕を祝い、無事故を祈願する。	吹割の滝観光協会会員の高齢化が進み、滝開き・無事故安全祈願祭を執行できる後継者の確保が心配される。 (改善点など)吹割の滝観光協会関係者の事業に対する自主性・自立性が現れてきた。	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、主催者及び一部関係者のみでの開催となっているが、観光客の無事故安全を祈願するとともに吹割の滝をPRするため、今後も継続が望まれる行事である。
49	観光交流課	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会（利根町観光協会）	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により、地域の活性化と観光振興の一助とする。	令和4年度については新型コロナウイルス感染症の影響等により中止	
50	観光交流課	老神温泉そば祭り	事業協力・協定	老神温泉そば祭り実行委員会（利根町観光協会）	「奥利根高原そば」を活かし、滝と温泉を結びつけた新たな観光の創出と地域の活性化を図る。	令和4年度については新型コロナウイルス感染症の影響等により中止	
51	観光交流課	老神温泉赤城神社節分祭	補助・助成	老神温泉観光協会	赤城神社での節分祭を開催し、厄払いと観光振興、集客を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止となり、令和3年度から感染防止対策を行った上で再開した。感染防止等の観点から参加者の募集等、周知活動が難しかったと思うが、今後、状況に応じた開催方法等を工夫し、もっと広く周知し誘客に繋げていく必要がある。	老神温泉の行事の中でも重要なお祭りであり、地域に根ざした伝統行事として、近隣住民だけでなく観光客も参加している。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止を余儀なくされ、感染防止対策を行い令和3年度から再開した。観光交流や地域振興という側面からも、今後も継続が望まれる行事である。

52	都市計画課	公園管理事業	事業協力・協定	薄根町区外10団体	公園の維持管理を地元住民との協定により実施し、利活用を図る。	公園運営委員等の高齢化が進み世代交代が急務な団体も存在する。	地域で公園の企画運営をする事で、利用団体や利用時間等を適切に把握し、効率的な公園管理が図れた。
53	都市計画課	市民緑化推進事業	補助・助成	幕岩の会外12団体	緑化推進事業に対する補助金の交付	広報等を通じ広く市民に周知しており、緑と花のあるまちづくり事業については、毎年多くの参加団体があるが、生け垣奨励事業は民間建築状況により左右されるため、年度毎の申請件数に差異が生じてしまう。(R4年度申請:なし)また、壁面等緑化奨励事業については、対象地域が限定されているため、ほとんど申請が無い状況である。	道路沿線等を緑化する事により、生活環境の向上が図られた。
54	都市計画課	中心市街地活性化の会補助事業	補助・助成	沼田市中心市街地活性化の会	中心市街地の活性化を目指し、地域のよりよいまちづくり実現に向けた事業への補助金交付	昨年度に引き続き、中心市街地活性化の基盤となるハード事業（土地区画整理事業）が徐々に進捗している。今後は大正ロマンエリアの利活用も含めた中心市街地活性化のためのソフト施策等を協働パートナーと考え、実行していきたい。ほか、協働パートナー以外の関係者も取り込み、市民全体の課題として取り組んでいけたらと考える。	市当局、並びに関係各機関と各権利者間の情報共有が図られた。 (改善点など)昨年はコロナのために開催が制限されてしまったが、本年は通常通りの開催を目指し情報の共有化に一層努力していきたい。
55	生涯学習課	沼田市文化祭開催事業	委託	沼田市文化協会	市民の作品展示・舞台発表などにより、芸術文化の普及発展、意欲向上を図る。	3年ぶりに利根沼田文化会館を中心とし開催された。コロナ禍により高齢化や会員の減少など文化活動の維持や継承に大きな課題もあるが、計画、準備から開催まで一丸となり盛況に終わることができた。	3年ぶりに利根沼田文化会館を中心とし開催された。コロナ禍により高齢化や会員の減少など文化活動の維持や継承に大きな課題もあるが、計画、準備から開催まで一丸となり盛況に終わることができた。
56	生涯学習課	白沢町文化祭	委託	沼田市文化協会白沢支部	文化祭の開催（計画立案含む）	コロナ禍により2年ぶりの開催となったため、出品数や来場者数の減少が懸念されたが、ハーブティーやコーヒーの試飲体験という新たな試みも行い、盛況のうちに終わった。継続的に出品している参加者も多く、芸術文化に対する創作意欲の高まりが感じられ、また、地域に根付いた事業であることから、今後も継続していくことが望ましい。	コロナ禍により2年ぶりの開催となったため、出品数や来場者数の減少が懸念されたが、ハーブティーやコーヒーの試飲体験という新たな試みも行い、盛況のうちに終わった。継続的に出品している参加者も多く、芸術文化に対する創作意欲の高まりが感じられ、また、地域に根付いた事業であることから、今後も継続していくことが望ましい。
57	生涯学習課	青少年健全育成推進モデル地区開催委託事業	委託	沼田地区青少年育成連絡協議会	沼田地区上毛かるた大会の開催	R4年度　新型コロナウイルス感染防止のため中止	
58	生涯学習課	子ども会ボランティア活動開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	子ども会を単位とした清掃活動等のボランティア活動の実施	R4年度　新型コロナウイルス感染防止のため中止	R4年度　新型コロナウイルス感染防止のため中止 地域を見つめ直し、ボランティア精神を養う、家庭教育支援として有効である。
59	生涯学習課	青少年指導者会研修委託事業	委託	沼田市青少年指導者会	青少年健全育成を支援する青少年指導者会の研修会の実施	研修会は実施したが、青少年健全育成事業等が新型コロナウイルス感染防止のため中止となり、十分な支援を行えなかった。	研修会は実施したが、青少年健全育成事業等が新型コロナウイルス感染防止のため中止となり、十分な支援を行えなかった。

60	生涯学習課	青少年育成大会開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年育成大会及び研修会の実施	R4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小開催とした。	R4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小開催とした。
61	生涯学習課	子ども会行事開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	かるた大会の開催により子ども会活動の活性化と会員相互の親睦を図る。	R4年度新型コロナウイルス感染防止のため大会は中止	
62	生涯学習課	沼田市二十歳を祝う会開催委託事業	委託	沼田市二十歳を祝う会実行委員会	二十歳という人生の節目を祝う式典の開催	「成人式」の後継事業として、「二十歳を祝う会」を初めて開催した。前年に引き続き、コロナ対策を講じながらの実施となったが、運営に対し参加者が協力的で無事に終えることができた。	「成人式」の後継事業として、「二十歳を祝う会」を初めて開催した。前年に引き続き、コロナ対策を講じながらの実施となったが、運営に対し参加者が協力的で無事に終えることができた。
63	生涯学習課	青少年自然体験活動推進事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	集団生活に耐えられる意志・体力を養うための野外体験活動の実施	R4年度　新型コロナウイルス感染防止のため中止	
64	生涯学習課	市民ハイキング	事業協力・協定	沼田山岳会	市民参加のハイキングの実施	3年ぶり人数を制限しての開催であった。コロナ禍であり場所を近郊の「尾瀬」に設定した。小学生から高齢者までが参加し、非常に好評であった。	3年ぶり人数を制限しての開催であった。コロナ禍であり場所を近郊の「尾瀬」に設定した。小学生から高齢者までが参加し、非常に好評であった。
65	生涯学習課	おはなしポケット	事業協力・協定	沼田読み聞かせの会	子供を対象とした読み聞かせ	新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながらの開催であったが、楽しみにしている参加者（親子）も多く、子供たちの読書活動の推進が図られている。	子供たちの読書活動の推進と図書館利用の促進が図られている。 多くの子供たち（親子）の参加があり、大変好評である。
66	生涯学習課	ブックスタート	事業協力・協定	ブックスタートボランティア（沼田読み聞かせの会）	絵本を介して、赤ちゃんと保護者のふれあいを応援する	令和2年度以降 、新型コロナウイルス感染症防止対策として、ボランティアによる読み聞かせを中止していたが、令和5年1月から希望者への読み聞かせを再開した。 この事業は、平成18年のスタートから15年以上が経過し、2人目、3人目となる親子も多くなり、ブックスタートをきっかけとして、読み聞かせを続けているとの声も寄せられ、事業の成果を実感できている。	令和5年1月から希望者に対して読み聞かせを再開したが、それまで新型コロナウイルス感染症防止対策として、読み聞かせを中止していた。コロナ禍前の事業では、参加者から、「赤ちゃんに会えるのがとてもうれしく、絵本を読んであげたときの赤ちゃんのかわいい反応をお母さんと一緒に楽しく体験している。ブックスタートを通して、地域に子育てを応援する人がたくさんいることを知ってもらったり、赤ちゃんが参加できるさまざまな活動に出会ったりすることで、安心して子育てができるきっかけになると良いと思う。お母さん方に大変好評。」といった声が寄せられている。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、多くの親子に読み聞かせを行うことができるよう望む。
67	文化財保護課	茶会開催業務	委託	沼田茶道会	旧生方家住宅において桜の開花時期にお花見添え釜を開催	新型コロナウイルス感染防止対策のため中止	